



2021年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社篠崎屋

上場取引所 東

コード番号 2926 URL <https://www.shinozakiya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 樽見 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営企画部長兼IR室長 (氏名) 矢立 実 TEL 048-970-4949

定時株主総会開催予定日 2021年12月22日 有価証券報告書提出予定日 2021年12月23日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の業績(2020年10月1日~2021年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	3,022	4.9	36	1.5	36	5.0	13	21.3
2020年9月期	2,881	8.1	35	32.8	38	30.0	16	51.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	0.92		1.1	2.5	1.2
2020年9月期	1.17		1.5	2.6	1.2

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 百万円 2020年9月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	1,491	1,156	77.5	81.67
2020年9月期	1,502	1,143	76.1	80.75

(参考) 自己資本 2021年9月期 1,156百万円 2020年9月期 1,143百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	49	14	20	548
2020年9月期	45	31	20	533

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期		0.00		0.00	0.00			
2021年9月期		0.00		0.00	0.00			
2022年9月期(予想)								

(注) 2022年9月期の配当予想額につきましては、業績予想の開示を行っていないことから、現時点において未定とさせていただきます。配当については、業績予想の見通しを開示した際にお知らせいたします。

3. 2022年9月期の業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っていません。なお、情報開示につきましては既存店舗等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間及び通期の見通しにつきましては分かり次第、開示してまいります。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期	14,436,600 株	2020年9月期	14,436,600 株
期末自己株式数	2021年9月期	278,800 株	2020年9月期	278,800 株
期中平均株式数	2021年9月期	14,157,800 株	2020年9月期	14,157,800 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、[添付資料]4ページ、「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、消費者にとって価値のある商品づくり、人づくり、店づくりを目指し、「よりいいものをより安く」提供し、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

当事業年度において、商品につきましては、引き続き「三代目茂蔵」でしか購入することのできない「茂蔵オリジナル商品」を中心に、利益率の良い高付加価値・高価格帯商品の開発及び既存商品の高付加価値・高価格帯への見直しに注力し、顧客単価の上昇と利益の改善に努めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響等による景気の先行きは不透明な状況となっていることから、お買い得感のある「生活応援企画商品」を強化することで顧客数の確保と売上高の拡大に取り組んでまいりました。

当事業年度の売上高は3,022,641千円(前事業年度比4.9%増)、営業利益は36,501千円(前事業年度比1.5%増)、経常利益は36,714千円(前事業年度比5.0%減)、当期純利益は13,056千円(前事業年度比21.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当セグメントにおきましては、「三代目茂蔵」ブランドを「工場直売所」から「豆腐専門店」へと、転換を押し進めております。

当事業年度におきましては、「三代目茂蔵」の認知度向上と顧客数の増加を目的に、開店時間から12時までの時間帯に「朝市」を開催し、新商品や「懐石弁当」などの高付加価値・高価格帯商品を時間限定でお買い得な価格にて提供することで、購買意欲の高い顧客層の来店頻度向上を図りました。なお、新店につきましては、既存業態を1店舗及びリニューアルオープンにより1店舗を出店しました。出店につきましては条件や店舗形態等の見直しを行い、出店準備を継続して進めております。

これらより1店舗平均の顧客単価は、前事業年度比99.9%となりました。1店舗平均の顧客数につきましては、「朝市」の開催などにより開店から14時までは同114.2%となり、結果、同103.1%となりました。

以上の結果、小売事業の売上高は2,706,932千円(前事業年度比4.3%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は、「生活応援企画商品」の導入や「朝市」の開催などにより、売上総利益率が1.0ポイント悪化しましたが、売上高が増加したことにより145,009千円(前事業年度比0.6%増)となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は315,709千円(前事業年度比10.6%増)、セグメント利益(営業利益)は38,469千円(前事業年度比8.9%増)となりました。

なお、当事業年度の出店状況は、次のとおりであります。

(単位:店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当事業年度末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	44	2	2	44
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	59	71	5	125
合計		103	73	7	169

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当事業年度末における資産の残高は、前事業年度末と比較して10,568千円減少し1,491,845千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加15,131千円、有形固定資産の減少10,945千円、リース債権の減少4,650千円等によるものであります。

② 負債

当事業年度末における負債の残高は、前事業年度末と比較して23,624千円減少し335,596千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少10,102千円、長期借入金の減少20,004千円等によるものであります。

③ 純資産

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して13,056千円増加し1,156,249千円となりました。これは、当期純利益の計上13,056千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度と比較して15,131千円増加し548,948千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、49,308千円(前事業年度は45,235千円の収入)となりました。これは主に、増加要因として、税引前当期純利益34,368千円、減価償却費及びその他の償却費27,840千円、未払消費税等の増加額8,686千円等、減少要因として、仕入債務の減少額1,240千円、法人税等の支払額29,070千円等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、14,174千円(前事業年度は31,274千円の収入)となりました。これは主に、増加要因として、リース債権の回収による収入4,650千円、減少要因として、有形固定資産の取得による支出17,282千円等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、20,004千円(前事業年度は20,032千円の支出)となりました。これは長期借入金の返済による支出20,004千円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期
自己資本比率(%)	70.8	74.1	76.1	77.5
時価ベースの自己資本比率(%)	100.0	103.4	91.4	106.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	—	169.5	114.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	75.28	106.96

(注) 各指標はいずれも個別ベースの財務数値を用いて、次の計算式により算出しております。

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

※1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式を除く)により算出しております。

2. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

3. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

4. 2018年9月期は営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであり有利子負債がないため、2019年9月期は営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

（4）今後の見通し

次期の見通しとして、商品につきましては、引き続き消費者にとって価値のある商品づくりを目指し、特に「三代目茂蔵」でしか購入することのできない、当社オンリーワン商品となる「茂蔵オリジナル商品」を中心に専門性が高く高付加価値商品の開発を強化し、お買い得感のある価格帯に設定することで売上高・利益の改善に努めてまいります。

店舗におきましては、「三代目茂蔵」としてのブランドのクオリティを向上させるべく、販売員の商品知識の向上や販売手法の強化、店舗毎の強化商品の設定や陳列方法の随時見直しなどについて、本部スタッフとのコミュニケーション強化に取り組むことで、消費者にとって魅力のある売り場づくりを引き続き推し進めてまいります。また、引き続き「朝市」を開催し、様々なカテゴリーの商品をお買い得な価格にて提供することで、購買意欲の高い顧客層の獲得及び買上点数の増加を図ってまいります。

2022年9月期の業績予想につきましては、当社の売上高の90%以上を占める小売事業においては、昨今の天候不順事象の増加から、その影響を想定することが年々困難となっており、加えてコロナ禍における見通しも不透明であるため、業績見通しの試算値等を公表することも当社の投資判断に誤解を生じさせる可能性が高いと考えております。

したがって、現段階におきましては業績見通しを公表できませんが、2022年9月期第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び同通期につきましては同第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をしてまいります。また、月次における既存店売上高等の情報開示につきましては、さらなる充実を図ってまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業は現在、日本国内に限定されており海外での事業展開がないこと、また国内の同業他社との比較可能性を確保するため、当面は日本基準にて財務諸表を作成する方針であります。

なお、将来のIFRS（国際財務報告基準）適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	533,817	548,948
売掛金	66,304	66,392
リース債権	4,650	4,584
商品	38,025	37,633
貯蔵品	608	580
前払費用	27,261	27,853
その他	17,781	11,170
貸倒引当金	△30	△30
流動資産合計	688,417	697,135
固定資産		
有形固定資産		
建物	524,665	529,715
減価償却累計額	△449,544	△466,307
建物(純額)	75,121	63,407
構築物	59,768	59,758
減価償却累計額	△54,555	△55,295
構築物(純額)	5,212	4,462
機械及び装置	4,656	4,656
減価償却累計額	△3,258	△3,538
機械及び装置(純額)	1,397	1,117
車両運搬具	7,730	7,730
減価償却累計額	△5,836	△6,522
車両運搬具(純額)	1,893	1,207
工具、器具及び備品	189,741	187,710
減価償却累計額	△178,804	△174,291
工具、器具及び備品(純額)	10,936	13,418
土地	562,970	562,970
有形固定資産合計	657,531	646,586
無形固定資産		
ソフトウェア	2,972	2,033
電話加入権	439	439
無形固定資産合計	3,412	2,473
投資その他の資産		
出資金	243	243
破産更生債権等	186	186
長期前払費用	1,427	1,027
敷金及び保証金	138,712	139,585
リース債権	7,493	2,908
その他	5,186	1,896
貸倒引当金	△197	△197
投資その他の資産合計	153,052	145,650
固定資産合計	813,996	794,710
資産合計	1,502,413	1,491,845

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	171,309	170,068
1年内返済予定の長期借入金	20,004	20,004
未払金	39,845	46,429
未払費用	37,639	39,413
未払法人税等	28,764	18,661
預り金	1,983	1,965
その他	416	—
流動負債合計	299,963	296,542
固定負債		
長期借入金	56,658	36,654
長期預り保証金	2,600	2,400
固定負債合計	59,258	39,054
負債合計	359,221	335,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金		
資本準備金	120,340	120,340
その他資本剰余金	106	106
資本剰余金合計	120,446	120,446
利益剰余金		
利益準備金	17,094	17,094
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	46,547	59,603
利益剰余金合計	63,641	76,698
自己株式	△40,896	△40,896
株主資本合計	1,143,192	1,156,249
純資産合計	1,143,192	1,156,249
負債純資産合計	1,502,413	1,491,845

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	2,881,698	3,022,641
売上原価		
商品期首たな卸高	36,816	38,025
当期商品仕入高	1,897,438	2,015,361
合計	1,934,255	2,053,386
他勘定振替高	212	79
商品期末たな卸高	38,025	37,633
売上原価合計	1,896,017	2,015,673
売上総利益	985,680	1,006,968
販売費及び一般管理費	949,725	970,466
営業利益	35,954	36,501
営業外収益		
受取利息	206	18
未払配当金除斥益	221	415
受取補償金	1,235	—
助成金収入	819	—
その他	855	247
営業外収益合計	3,338	681
営業外費用		
支払利息	610	468
その他	19	0
営業外費用合計	629	468
経常利益	38,663	36,714
特別利益		
固定資産売却益	49	—
特別利益合計	49	—
特別損失		
固定資産除却損	0	193
減損損失	—	2,151
店舗閉鎖損失	1,142	0
特別損失合計	1,142	2,345
税引前当期純利益	37,571	34,368
法人税、住民税及び事業税	20,989	21,312
法人税等合計	20,989	21,312
当期純利益	16,581	13,056

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,000,000	120,340	106	120,446	17,094	29,965	47,059
当期変動額							
当期純利益						16,581	16,581
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	16,581	16,581
当期末残高	1,000,000	120,340	106	120,446	17,094	46,547	63,641

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△40,896	1,126,610	64	64	1,126,675
当期変動額					
当期純利益		16,581			16,581
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△64	△64	△64
当期変動額合計	—	16,581	△64	△64	16,517
当期末残高	△40,896	1,143,192	—	—	1,143,192

当事業年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,000,000	120,340	106	120,446	17,094	46,547	63,641
当期変動額							
当期純利益						13,056	13,056
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	13,056	13,056
当期末残高	1,000,000	120,340	106	120,446	17,094	59,603	76,698

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△40,896	1,143,192	1,143,192
当期変動額			
当期純利益		13,056	13,056
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	13,056	13,056
当期末残高	△40,896	1,156,249	1,156,249

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	37,571	34,368
減価償却費及びその他の償却費	35,330	27,840
減損損失	—	2,151
受取利息及び受取配当金	△206	△18
支払利息	610	468
為替差損益(△は益)	0	△2
固定資産売却損益(△は益)	△49	—
固定資産除却損	0	193
店舗閉鎖損失	1,142	0
売上債権の増減額(△は増加)	7,963	△88
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,031	418
仕入債務の増減額(△は減少)	△642	△1,240
未払金の増減額(△は減少)	△1,120	797
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,297	8,686
その他	1,168	5,244
小計	65,438	78,821
利息及び配当金の受取額	206	18
利息の支払額	△600	△460
法人税等の支払額	△19,808	△29,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,235	49,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,989	△17,282
有形固定資産の売却による収入	50	—
無形固定資産の取得による支出	△260	—
投資有価証券の償還による収入	30,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,090
リース債権の回収による収入	5,474	4,650
その他	—	△452
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,274	△14,174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△20,004	△20,004
配当金の支払額	△28	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,032	△20,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	56,476	15,131
現金及び現金同等物の期首残高	477,340	533,817
現金及び現金同等物の期末残高	533,817	548,948

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「三代目茂蔵」直営店による小売事業を中心に事業活動を展開しております。従いまして、当社は、「小売事業」及び「その他事業」の2区分を報告セグメントとしております。なお、「その他事業」は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントごとの会計処理の方法は「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,596,355	285,343	2,881,698	—	2,881,698
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,596,355	285,343	2,881,698	—	2,881,698
セグメント利益	144,083	35,339	179,423	△143,468	35,954
セグメント資産	776,817	157,233	934,050	568,363	1,502,413
その他の項目					
減価償却費	28,768	2,238	31,006	2,541	33,548
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,059	—	1,059	—	1,059

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

(1) セグメント損益の調整額は、各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントには配賦していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門等に係る資産の増加額であります。

2. セグメント損益は損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,706,932	315,709	3,022,641	—	3,022,641
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,706,932	315,709	3,022,641	—	3,022,641
セグメント利益	145,009	38,469	183,478	△146,977	36,501
セグメント資産	759,909	155,986	915,895	575,949	1,491,845
その他の項目					
減価償却費	22,879	2,090	24,969	1,852	26,821
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	16,355	—	16,355	927	17,282

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント損益の調整額は、各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントには配賦していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門等に係る資産の増加額であります。
2. セグメント損益は損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

損益計算書の売上高に占める割合が10%を超える顧客がないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

損益計算書の売上高に占める割合が10%を超える顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	小売事業	その他事業	全社・消去	合計
減損損失	2,151	—	—	2,151

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	80.75円	81.67円
1株当たり当期純利益金額	1.17円	0.92円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益金額(千円)	16,581	13,056
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	16,581	13,056
期中平均株式数(株)	14,157,800	14,157,800

(重要な後発事象)

該当事項はありません。